9638

4 P

特許協力条約

(日. 月. 年) 12. 01. 2005

今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。

国際予備審査報告を作成した日

特許庁審査官(権限のある職員)

榎本 佳予子

07.03.2006

電話番号 03-3581-1101 内線 3492

優先日

(日.月.年) 13.01.2004

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

国際出願日

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

出願人又は代理人

国際出願番号

の書類記号 D3-A0309P

PCT/JP2005/000238



国際特許分類(IPC)Int.Cl. A61K48/00(2006.01),A61K38/00(2006.01),A61K35/12(2006.01),A61K35/76(2006.01),A61K39/00(2006.01),A61P35/00(2006.01),(補充欄に続く)						
出願人 (氏名又は名称) 株式会社ディナベック研究所						
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。						
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で6 ページからなる。						
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. 厂 附属書類は全部で ページである。						
□ 第Ⅰ欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙						
 b. 電子媒体は全部で						
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第802号参照)						
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。						
 第1欄 国際予備審査報告の基礎						
第11欄 優先権						
▼ 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成						
「 第IV欄 発明の単一性の欠如						
▼ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明						
□ 第VI欄 ある種の引用文献						
□ 第VI欄 国際出願の不備						

国際予備審査の請求書を受理した日

名称及びあて先

29.07.2005

日本国特許庁 (IPEA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

第	【欄	報告の基礎	
1	童飯	に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎と	1.7.
1.			
	•	出願時の言語による国際出願 出願時の言語から次の日的のための言語である。	許で劉むさかた 「八国際山麓の劉む中
			語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
		国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b)) 国際公開 (PCT規則12.4(a))	
		国際公開 (PC 1 規則12.4(a))	(a))
2.			e (PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され
	た差	替え用紙は、この報告において「出願時」とし、	この報告に袮付していない。)
	F	出願時の国際出願書類	
	Г	明細書	
		第ページ、	出願時に提出されたもの
		第 第ページ*	、 付けで国際予備審査機関が受理したもの、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	_	請求の範囲	
	•	第 項、	出願時に提出されたもの
		第	、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
		第	、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第	、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		図面	
	~	, ,	出願時に提出されたもの
		第 ページ/図*	出願時に提出されたもの 、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第 ページ/図*	、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	V	配列表又は関連するテーブル	
		配列表に関する補充欄を参照すること。	
3.	Γ	補正により、下記の書類が削除された。	
		厂 明細書 第	ページ
		図面 第	ページ/図
		配列表(具体的に記載すること)	
		■ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載する	すること)
4	Г	この報告は、補充欄に示したように、この報告	に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超
	# ·		されなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
		□ 明細書 第	ページ
		明神音	項
		ア 図面 第 <u> </u>	ページ 項 ページ/図
		配列表(具体的に記載すること)	
		□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	すること)
			1
			I
	4 '-	- 助业子を担合 ユの田研2・ / ・ // 1 ~ -	l ナわ エー レポた z
* 4	4. h	こ該当する場合、その用紙に "superseded" と記え	ハモ4レタニとかのの。
			· ·

第Ⅱ	欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
	次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により 審査しない。
Γ	国際出願全体
F	請求の範囲 1-6
理由	: この国際出願又は請求の範囲
	請求の範囲1-6は手術又は治療による人体の処置方法に係るものである。
Γ	明細書、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の範囲
Γ	全部の請求の範囲又は請求の範囲が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない(具体的に記載すること)。
<u></u>	ませのが 田
F	請求の範囲 1-6 について、国際調査報告が作成されていない。 入手可能な配列表が存在せず、有意義な見解を示すことができなかった。 出願人は所定の期間内に、
	実施細則の附属書Cに定める基準を満たす紙形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす電子形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。 PCT規則13の3.1(a)又は(b)及び13の3.2に基づく命令に応じた、要求された配列表の遅延提出手数料を支払わなかった。
Г	入手可能な配列表に関連するテーブルが存在しないため、有意義な見解を示すことができなかった。すなわち、出願人が、所定の期間内に、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たす電子形式のテーブルを提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法でテーブルを入手することができなかった。
Γ	ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが電子形式のみで提出された場合において、当該テーブルが、 実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たしていない。
Г	詳細については補充欄を参照すること。

様式PCT/IPEA/409 (第Ⅲ欄) (2005年4月)

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条 (PCT35条(2)) に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明							
1. 見解							
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	7 – 1 0	有 無				
進歩性(IS)	請求の範囲		 有				
	請求の範囲	7 – 1 0	無 無				
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	7 – 1 0	有				

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

(対献)

- 1. JP 07-503455 A (サン ディエゴ リージョナル キャンサー センター) 1995.04.13
- 2. JP 58-157723 A (味の素株式会社) 1983 09.19

請求の範囲

- 3 Mol Ther, 2003, Vol. 7, No. 2, p. 210-7
- 4. 細胞, 2001, Vol. 33, No. 6, p. 227-231

(説明)

請求の範囲7~10について

請求の範囲7~10に係る発明は、国際調査報告で引用された何れの文献にも開示されておらず、新規性を有するが、国際調査報告で引用された文献1~4より進歩性を有しない。

文献 1 には、腫瘍性抗原と I L - 2 等のサイトカイン遺伝子産物を発現し得る細胞とを含有する抗腫瘍剤が、また、文献 2 には、 I L - 2 を含有する抗腫瘍剤が、それぞれ記載されている。

そして、蛋白質を医薬として投与するための周知技術である遺伝子治療において、マイナス鎖RNAウィルスベクターを遺伝子発現ベクターとして用いることは、文献3及び4に記載されるように公知であるから、文献1又は2に記載の抗腫瘍剤において、蛋白質であるIL-2等のサイトカインを投与するために、マイナス鎖RNAウィルスベクターを用いた手法を適用することは当業者にとっては自明のものである。また、IL-2等のサイトカインの各種腫瘍に対する抗腫瘍効果を確認することも、当業者が通常行う範囲内の事項である。

Г

2. 「 さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

____ 付けで、この国際予備審査機関が補正*として受理したもの

| 出願後に、調査又は審査のために、この国際機関に提出されたもの

3. 補足意見:

*第1欄4. に該当する場合、国際予備審査報告書の基礎となる配列表又は配列表に関連するテーブルに "superseded" と 記入されることがある。

		<u> </u>					
補充欄							
いずれかの欄の大きさが足りない場合							
第	欄の続き						
国際特許	分類(IPC)の続き						
Int.Cl.	C12N5/10 (2006.01), C12N15/09 (2006.01)						
	·						